

刊行にあたって

このたび、本誌を刊行する運びとなりました。

本誌の執筆にあたり、まず臨床の現場で活躍中の歯科医師 100 人を対象に、日常の診療で遭遇した経営上の問題にどのように対処するのか、アンケートを実施しました。ご多忙にもかかわらず、アンケートにご協力いただいた歯科医師の先生方に、心より感謝申し上げます。貴重な体験談は、現に問題に直面している先生方にとって、「みんなも直面したトラブルなんだ」という安心感と、今後の道標としておおいに役立つものと思われま

す。今回、「アンケートにご回答いただいた先生方のナマの声を届けたい」という思いから、できるだけ文章を変えずに掲載しております。いいなと思った実践例を取り入れていき、自院ならではの仕組みを考えてうまく運営できれば、きっとスタッフからも患者さんからも喜ばれる好感度 120% の歯科医院になることでしょう。そして、まだ発展途上で試行錯誤している先生方の参考になるよう、項目ごとにまとめのページで法律がどうなっているかに加え、経営コンサルタントの目線から攻守に役立つ手法やアドバイスを紹介しています。ぜひ試してみてください。

歯科医院が抱える問題やトラブルは 20 年前と大きく変わっていません。アンケートを拝見し、以前に失敗を経験した医院では、その反省を活かした体制ができていたのかもしれないと感じました。また、「当院ではそのようなトラブルはありません」という回答の裏側には、日々のマネジメントの成果があるのでしょう。

院長に求められる能力は、以下の 3 つだと私は考えています。

免疫：問題が起きることに慣れる

嗅覚：トラブルを事前に察知する

自律：個人的感情を排除し、院長として振る舞う

読者の皆様には、本誌を読んで先輩方の経験を疑似体験して、免疫力や嗅覚を磨いてもらい、自院の運営に役立てていただければ幸いです。最後に刊行にあたって、デンタルダイヤモンド社の安齋取締役、山口編集長、担当の保坂様にはたいへんお世話になりました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

2017 年 1 月

森 照雄（編集委員代表）